

# みんなの5.7.5

みんなで創るみんなのページ。  
すてきな作品をお待ちしています！

ひまわりの ように私も 咲いてます  
ふるさとを つなく心の お中元  
盆踊り 音調の好きな 虫がいる  
追いついても つまらない さんぽ道  
赤じそと 出逢って梅が 頬をぬる  
二度とない 今日一日を 大切に  
何事も 度がすぎれば 泡となる  
話す度 センチが伸びる 逃げた魚  
マネキンが 無理よと笑う 試着室  
雑草よ 刈りて刈りても のびてくる  
五七五 出来たハガキ 娘にたくす  
生き抜くぞ 百歳オーバー 遠慮なく  
山登り いつも来るのは シニア世代  
もったいない 食べて減らそう 外来魚  
比良山に 雲の生まれる 雨のあと  
夫亡きも 子らの支えて 生きられる  
花有りて 我が人生も 豊かなり  
秋空に 願いを込めた 稲穂刈る  
露地もの トマトさすがに 陽のにおい  
あてやかに 故郷かざる 着物ショー  
梅雨空に ホタル飛び交ふ 水清き  
さりげなく ひと声かける 誉めことは  
彼岸花 赤と黄金の 色比べ  
じつなりし おろしにからず うらめしそ  
無事祈る 台風嵐と 梅雨のあけ  
雷鳴に 七十すぎても 桑原・桑原  
梅雨空に 朝の一言 まごの声  
そよ風に 鈴虫泣くよ 秋の夜  
夏帽子 日傘はさせぬ 腰まがり  
ファッションか 片方の膝が 破れてる  
夕やけ小やけて 遠い童心 呼びもどす

河原田うた子 (今・岸臨)  
洞山千代江 (今・南新保)  
河原田 勝 (今・岸臨)  
上原 久枝 (新・針江)  
藤田 昭子 (高・鹿ヶ瀬)  
鈴木 京子 (安・藤江)  
池田よし枝 (今・津)  
山本喜代治 (安・長尾)  
丸岡亜希子 (新・藁園)  
藤森みち子 (朽・柏)  
前田 とみ (今・浜分)  
上山 惟裕 (高・城山台)  
能町 察 (高・城山台)  
早田 弘子 (今・津)  
川根 秀生 (高・城山台)  
曾根ケイ子 (新・藁園)  
中河 仁子 (今・津)  
寺田 義輝 (マ・西浜)  
斉藤 光江 (安・今在家)  
中崎 徳子 (朽・桑原)  
高木 いま (マ・野口)  
松山八夜夷 (今・津)  
桑 洋一 (新・太田)  
講殿 よね (安・藤江)  
栗津 満子 (マ・山中)  
久保井とく (マ・寺久保)  
沢井 美代 (朽・岩瀬)  
坂田 ツネ (今・角川)  
栗津 秀 (マ・山中)  
進士 照子 (新・太田)  
平井 ちく (朽・大野)

花々買う 大人もうれしい 夏の夜  
針江住む 君うらやましいと 遠き友  
長風呂を 共に気付けよう 歳となり  
道徳の レベル誤りに ランクつけ  
風鈴の 音色涼しき 夏の夜  
猫たちと 日課の散歩 癒される  
段取りよし 自分で変えてりゃ 訳はない  
原産地 中国よけて 買っている  
高島や 波うつうねりの 青田風  
縫い夏 棚田の里に ひぐらしが  
五の露 里芋の葉で 遊びけり  
胸を突く 久間発言 梅雨暗らし  
勝手もと 匂のにおいが あちこちで  
合風が くるかくるかかと 雨戸しめ  
無農薬 野菜作って 孫たちに  
人の名を 思い出すのに 四苦八苦  
ゆりの花 しずしずゆれる あてすがた  
文化祭 稽古にあげくれ ボケ防止  
老いひとり 葬儀屋からの 電話くる  
子の笑顔 スクールガード 元気づけ  
多い目に 糖分取って 尿を採り  
雨近し 湖西線の 音高し  
前向きは いつか幸運 連れてくる  
茶酒した 何故かと問われ 金がない  
毎号の 五七五読み 日々衆し  
中国産 孔子が嘆く 天の声  
婢しくれ 僕ら知らんと 池の鯉  
雨ふれば よるこぶものは 草ばかり  
野菜畑 人より先に 猿がたべ  
ゆっくりと 血球沈み 献血よし  
休日も 印押ししたし 出勤簿

高岡ふじ江 (マ・小荒路)  
中内 保男 (新・針江)  
清水イチ子 (今・津)  
清水 真夫 (今・津)  
熊谷 清美 (今・梅原)  
熊谷 喜久雄 (今・梅原)  
松本せつ子 (マ・海津)  
鞍田 作枝 (新・藁園)  
上野三三子 (高・鴨)  
川端 昭子 (高・畑)  
赤塚 光恵 (安・下古賀)  
岸田 金子 (安・田中)  
森本 幸枝 (今・梅原)  
川本 一男 (安・北船木)  
成宮 弘之 (今・梅原)  
平井 真造 (安・上古賀)  
木津 みね (高・掛戸)  
寺尾 輝代 (新・北畑)  
井口 みよ (高・高島)  
北坂 修 (高・武曾横山)  
西川五三三 (高・高島)  
伊吹 忠義 (マ・中庄)  
堀本 美代 (新・旭)  
中村 芳喜 (高・武曾横山)  
梅村金次郎 (安・藤江)  
八田 信子 (高・高島)  
八田 忠重 (高・高島)  
小谷 ひで (高・高島)  
小谷 久雄 (高・高島)  
高澤 芳枝 (今・松陽台)  
川島 耕一 (安・長尾)

## 広告募集中！

あなたの店や事業の  
広告を出しませんか？  
■掲載料：1か月(1発行号限り)10,000円 ■大きさは縦28mm×横85mm (1枠はこの記事の半分のサイズです。)  
■次回11月1日号掲載分の締切：9月25日(火) ■問合先：秘書広報課 ☎(25)8130

## 市長日記

高島の大地に今年も見事にお米が稔りました。盆明けの20日からハナエチゼンの稲刈りが始まり、晩生まで何と30品種、571万kgで26万俵余のお米が収穫される予定です。これは1人の年間消費を60kgと換算すると26万人分の命を支えていることとなります。因みに、宮沢賢治の雨二毛負ケズの「一日玄米四合ト」で6000g換算すると7万2千人分になります。4倍近くのお米を食べていたのですね。

昨今国の農政に翻弄されていますが、農地と農業を守ることは、いのちと環境を守ることであり、郷土の景観を守ることです。耕作者の皆さんに感謝するとともに、周辺農地や生き物の棲む環境を守り、消費者に安心され、選ばれ、生産者の経営が成り立つ高島農業の道を拓いていかなければなりません。ここにも地方分権がまっています。

合併をきっかけに市民の力が結集され、事業が充実し、感動する機会が増えています。「子育て講演会」も大盛況でしたし、「びわこ全国青少年演劇祭」や「和太鼓祭り」は素晴らしい舞台の連続でした。県青年大会には、県下最大の180人の選手団が挑むとのこと。

また3年目の「戦争犠牲者を追悼し平和を誓う市民の集い」も「入印象深いものでした。子ども代表の作文と「地雷をなくそう、世界どこもキャンペーン」の発表には、観客の多くが「子どもが気づくと立ち上がる力」に目を見張りました。「千の風になつて」の演奏では、亡くな

った方の心情が歌に乗り移っているかのようで、大切な人を戦争や事故で失い、心は穴の空いたまま踏ん張ってきた頑張り屋さんを、静かに慰め癒してくれているように思いました。私たちは、見守られ励まされていると素直に思えました。

さて、9月半ばには滋賀県で日本スポーツマスターズ大会が開催されます。35歳以上の選手によるこの大会は、生涯を通して運動を楽しむ、健康長寿を実現することがテーマの一つにあります。野球競技には予選を突破した「新旭クラブ」が出場されます。高島市では、今津総合運動公園周辺6km周回コースで自転車競技が開催され、北は北海道から南は宮崎県まで202人の選手を迎えます。「両親から授かった身体を大切にすることは孝の始め」と藤樹先生は毎朝、孝経を朗誦されていたようですが、今や中高年こそ健康のために適度な運動が必要です。自転車は有酸素運動に有効な種目だからこそで、ぜひ応援を兼ねてマスターズ大会を覗いてみてください。敬老のお祝いも変わったりして。

この広報がお手元に届く9月1日は、高島市商工会の青年部とJC(高島青年会議所)の若者たちが発起人となって、風車村で「たかしま市民まつり」が開催される予定です。若者の力が結集され、オール高島の頼もしい働きかけが明日を変えていきます。琵琶湖での地引網も復活するそうなので。

海東英和 拝

## チャレンジ!

### 省エネ長者作戦

毎日の生活の中で、節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく、家計を助けることにもなります。また省エネは、家庭でできる地球温暖化対策です。このコーナーでは家庭で簡単にできる省エネを紹介します。

#### ◆省エネアドバイス「食器洗い乾燥機編」

☆まとめ洗いと温度調節がポイント！  
☆洗浄終了後、扉を開けて余熱だけで乾燥させればさらに省エネです。

年間 約8,880円の節約!

【食器洗い乾燥機の場合】  
電気 年間 525.20kWh  
水道 年間 10.80m<sup>3</sup>  
約14,020円

【手洗いの場合】  
ガス 年間 81.62m<sup>3</sup>  
水道 年間 47.45m<sup>3</sup>  
約22,900円

※手洗い、食器洗い乾燥機ともに2回/日(給湯器40℃、使用水量65ℓ/回で夏季は給湯器を使用しない条件で比較)

◆出典…家庭の省エネ大事典  
(財団法人/省エネルギーセンター発行)  
<http://www.eccj.or.jp/dict/>